

第13回 垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 会議録

1. 日 時 : 令和 2年10月28日(水) 10:00 ~ 11:25
-
2. 場 所 : 市役所3階 第一会議室
-
3. 会 次 第 : 1. 開 会
2. 市長あいさつ(代理:副市長)
3. 協 議
(1) 第1期「垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の効果検証について
(2) その他
4. 閉 会
-
4. 出 席 者 : ・堂 蘭 一 仁 委 員 ・脇 元 浩 継 委 員 ・和 田 将 史 委 員
・内 和 田 浩 巳 委 員 ・佐 野 雅 昭 委 員 ・杉 元 浩 一 委 員
・吉 永 勝 委 員 ・上 和 田 邦 彦 委 員 ・萩 山 真 一 委 員
・森 真 由 美 委 員 ・森 千 秋 委 員 ・岩 橋 由 紀 委 員
-
5. 欠 席 者 : ・川 畑 敏 朗 委 員 ・小 畑 日 出 子 委 員 ・宮 下 直 弥 委 員
-
6. 垂 水 市 : ・長 濱 重 光 副 市 長
-
7. 事 務 局 : ・二 川 課 長 ・園 田 補 佐 兼 係 長 ・市 木 主 査
・船 間 主 査
-

事務局1 ... 定刻となりましたが、審議会を開催する前に委員の委嘱状交付を行います。

垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会設置要綱第4条により、委員の任期は2年となっており、先般、委員委嘱の依頼をいたしましたところ、皆様にはご承諾いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

それでは、お手元の会次第の裏面「垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会委員名簿」をご覧ください。

15名の皆様に委員を委嘱いたします。

(副市長により代表者に委嘱状交付)

ありがとうございました。

ここで、事務局より委員の皆様の御名前を読み上げてご紹介させていただきます。

(名簿順に委員を紹介)

本審議会の任期は、令和4年3月31日までとなっております。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

それでは、ただいまより第13回垂水市まち・ひと・しごと創生総

合戦略審議会を開催いたします。

会次第2. 市長あいさつですが、本日は市長が公務により不在のため、副市長がご挨拶申し上げます。

副市長

… 本来、市長が挨拶を申し上げるべきですが、公務により不在のため、変わりましたご挨拶申し上げます。

委員の皆さま方におかれましては、大変お忙しいところ、本審議会にご出席をいただき、誠に有難うございます。また、日頃から、垂水市政にご協力を賜り、重ねて感謝申し上げます。地方創生につきましては、平成二十七年度の国及び地方の「戦略策定」を経て、平成二十八年度から本格的な「事業展開」の段階に入り、全国の自治体におきましては、地域の特性を生かした、その地域にあった積極的な取組が進められているところであります。

本市におきましても、「道の駅たるみずはまびら」の整備をはじめ、地元の民間事業者、県内の大学等との産学官連携による地方創生に

取り組んでいるところでございますが、現在は、皆さまのご協力により策定されました、『第二期垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略』に基づき、地方創生に関する様々な事業を展開しているところでございます。

本日は、第一期総合戦略最終年度について、本審議会に関連事業の効果を検証していただき、その結果をしっかりと認識し、第二期総合戦略に生かしていくことが、地方創生を実現していくうえで、非常に重要であると考えております。

現在の取組みを途切れさすことなく、息長く取り組んでいくためにも、皆様のご意見やご提案を賜りますよう、お願い申し上げ、開催に際しましての挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願い致します。

事務局1

… ありがとうございます。

続きまして、会次第3の「会長及び副会長の選任」でございますが、審議会設置要綱第5条の規定により、会長及び副会長を各1名置き、会長は互選により定め、副会長は会長が指名するとあります。

まず、会長に立候補される方、または推薦される方はいらっしゃいませんか。

各委員

… (なし)

事務局1

… いらっしゃらなければ、事務局案を示したいと思いますが、よろしいでしょうか。それでは、担当より事務局案を申し上げます。

事務局2

… 事務局の案といたしましては、総合戦略策定時から会長を務めていただきました、G委員に、会長をお願いしたいと考えております。

事務局1

… G委員を会長にとの案でございますが、委員の皆様、よろしいでしょうか。

| | | |
|-------|---|---|
| 各委員 | … | (承認) |
| 事務局 1 | … | <p>ありがとうございます。</p> <p>承認いただきましたので、G委員におかれましては、会長をよろしくお願いいたします</p> <p>次に、副会長の選任ですが、会長が指名するとありますので、G会長により、指名をお願いします。</p> |
| G会長 | … | <p>ただいま、会長ということでご指名いただきました、Gでございます。副会長の指名ということでございますけれども、M委員におつとめいただきたいと思えます。</p> |
| 事務局 1 | … | M委員を指名ですが、委員の皆様よろしいでしょうか。 |
| 各委員 | … | (承認) |
| 事務局 1 | … | <p>ありがとうございます。</p> <p>M委員におかれましては、副会長をよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、協議に入りますが、ここから先の議事進行につきましては、審議会設置要綱第5条第3項の規定により、G会長にお願いいたします。</p> <p>会長は、前の席にお願いいたします。</p> |
| 議長 | … | <p>この会の議長をつとめさせていただきます。よろしく申し上げます。それでは、審議に入ります。審議事項(1)の『第1期「垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の効果検証について』、事務局より説明をお願いします。</p> |
| 事務局 2 | … | <p>説明に入る前に、本日の資料の確認をさせていただきます。</p> <p>まず、1枚紙の会次第、次に右上に「資料1」と書かれたA4横向きの冊子、次に垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証結果に対する意見の3種類です。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、議事の(1)、「第1期「垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の効果検証について」説明させていただきます。</p> <p>資料1に基づき、説明させていただきます。</p> <p>まず、この資料は、総合戦略及び総合戦略アクションプランに掲載している事業の令和元年度まで、5か年計画の最終年度の実績値を基に、関連事業担当課において自己評価をし、先日10月1日に庁内の本部会議でとりまとめたものでございます。</p> <p>それでは、説明に入ります。1ページをお開きください。</p> <p>まず、「総合戦略効果検証について」でございます。</p> <p>本市総合戦略につきましては、平成27年度に国・県の総合戦略を勘案しながら、本市の特性や地域資源を生かす施策を盛り込み、それぞれの基本目標、施策及び事業にKPIを定め策定いたしました。</p> <p>これまで、KPIを意識しながら各担当課において、また庁内横断的に連携しながら取り組んでおり、令和2年3月には「第2期垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定いたしました。</p> <p>今回、第1期総合戦略の最終年度である令和元年度の実績値等に</p> |

ついて効果検証を行い、令和2年度を始期とする第2期総合戦略においても継続した取組と、PDCAサイクルの確立・運用を図っていきたいと考えております。

次の囲みの中ですが、進捗率の算出について記載をしております。進捗率につきましては、3ページ以降の個別検証の中で出てきます。

算出方法には二通りあり、まず一つ目が、計画期間の累計値を目標に設定しているものにつきましては、実績値の累計を目標値で割り100を掛け、算出しております。

具体的に言いますと、3ページの中段、青色の欄の①新規就農者支援事業、これのKPIは年間2人の認定新規就農者を5年間確保するというものですので、平成27年度から令和元年度までの実績値の累計13人を目標値の10人で割り、130%と算出しております。

1ページに戻っていただき、算出方法の二つ目が、基準値に対して数値を増加させるような目標を設定しているものでございます。

これは実績値から基準値を差引いた値を目標値から基準値を差引いた値で割ったものに100を掛けて算出しております。

具体的に言いますと、5ページの青色の欄の①水産振興資金貸付事業、牛根漁協のKPIは平成26年度基準値8億3千771万4千円を令和元年度に11億2千342万9千円に引き上げるという目標ですが、令和元年度実績値では、7億5千万円と基準値よりも下がっているため、先程の計算式に当てはめ、-30.70%と算出しております。

1ページにお戻りください。次の囲みの中に進捗状況の凡例を記載しております。先程の計算式で得た進捗率に対してAからEまでの5段階で記載しております。

Aにつきましては、「目標達成または達成見込」として、現時点で目標値に対して進捗率が80%以上としております。

Bにつきましては、「目標達成に至らないが十分効果が発現している」として、50%以上80%未満としております。

Cにつきましては、「目標達成に至らないが多少効果が発現している」として、1%以上50%未満としております。

Dにつきましては、「目標達成に向けた効果が発現していない」として、1%未満としております。

最後にEですが、策定時には事業実施を目指してKPIの設定をしたものの、事業実施に至らなかったことで、実績値の把握が不可能なものがございましたので、これをEとしました。

次に2ページをご覧ください。基本目標ごとに全KPIの現状について、先程の進捗状況凡例に従い、集計したものです。

まず、「基本目標1 垂水市における安定した雇用を創出する」でありますが、KPI27件のうち、「効果が発現している」AからCまでの割合が77.8%となっております。

次に、「基本目標2 垂水市への新しいひとの流れをつくる」につきましては、KPIが20件のうち、AからCまでの割合が70%となっております。

次に、「基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」につきましては、KPIが18件、AからCまでの割合が、83.3%となっております。

最後に、「基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」につきましては、KPIが14件、AからCまでの割合が、57.2%となっております。

これらの結果から、個別に設定されているKPIが過度な目標となっていないか、また逆に、容易な目標でなかったかなど、適正な数値であったかの検証も必要であると考えておりますが、結果だけ見ますと、「基本目標4」の成果が低かったようでございます。

続きまして、審議の進め方、検証の方法について、説明させていただきます。

3ページ目からは、個別の現状を記載しておりますが、80項目と多く、ひとつひとつの項目を説明させていただくとすると、相当時間を要します。また、昨年度の審議会でも4年目までの検証をしていただき、それを基に第2期総合戦略を策定いたしましたので、今回は第1期の総まとめという意味合いで、大きなくりの基本目標ごとについて説明させていただき、その後、委員の皆様にも審議・検証していただきたいと考えております。このような進め方でよろしいか、まず、ご審議をお願いいたします。

議長

… ただいま、事務局から説明がありました。審議の進め方につきましては、4つの基本目標ごとに説明をいただき、それごとに委員の皆様にも審議・検証をしていただきたいと説明がありました。

先ほど説明にありましたように、昨年、4年間の総括をさせていただいて、第2期の計画を策定いたしました。今回は5年間の最終的な取りまとめでございます。多くの委員の方々が留任されておられるということも踏まえて、そのような形で進めさせていただければと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員承認)

それでは、そのような方向で進めさせていただければと思いますので、説明をお願いします。

事務局2

… それでは3ページをお開きください。「基本目標1 垂水市における安定した雇用を創出する」からご説明いたします。基本目標のKPIは2つあり、一つ目が「雇用創出数」です。令和元年度の目標値累計110人に対して実績が累計116人で進捗状況はAとしております。二つ目が「新規創業件数」で、令和元年度目標値累計5件に対して実績が累計11件で進捗状況をAとしております。

続きまして、施策1.既存産業の育成及び経営安定化の推進の(1)農林業の振興についてです。この施策のKPIが、1「農地所有適格法人数」で、令和元年度目標値累計18法人に対して実績累計14法人で進捗状況はCとしております。令和元年度の単年度実績がマイナス4法人となっておりますが、実際は新規で3法人ありました。これは、基準値である平成26年度の法人数が13法人となっておりますが、6法人の誤りだったため、累計の法人数を合わせるため、マイナス4法人としております。次のKPIが、2「認定新規就農者

数」です。目標値累計 10 人に対して、実績累計 13 人で進捗状況 A としております。具体的な事業についての説明は省略させていただきます。

続きまして 5 ページをお開きください。(2) 水産業の振興です。施策の KPI は二つあり、一つ目が「国内・海外商談成立件数」で、目標値累計 25 件に対し、実績が累計 40 件で進捗状況は A としております。二つ目が「漁業所得」で目標値 12 億 1 千 7 百 56 万 9 千円に対し、令和元年度実績 12 億 9 千 131 万 5 千円で進捗状況は A としております。続きまして、7 ページの (3) 商工業の振興です。施策の KPI はこちらも二つあり、一つ目が「物産展等における商談件数」で、目標値累計 25 件に対して、実績が累計 30 件で進捗状況を A としております。二つ目が、「商工業の新規就業者数」で目標値累計 25 人に対し、実績が累計 33 人で進捗状況 A としました。

続きまして、8 ページをご覧ください。基本目標 1 の 2 地域資源を活かした創業支援・企業誘致の推進について、施策の KPI の一つ目「創業・企業誘致相談件数」目標値累計 25 件に対し、実績が累計 15 件で進捗状況 B としております。二つ目の KPI が「創業・企業誘致の雇用数」で目標値累計 75 人に対して実績が累計 70 人で進捗状況を A としております。

次に、施策 3. 魅力ある「しごと」づくりの推進について、施策の KPI の 1 「特定資格取得者数」ですが、備考に※ 4 として、資料の 24 ページにコメントを載せてあります。総合戦略を策定する時に医療・福祉関係の資格取得者等の助成制度の構築を目指したものでしたが、実際構築に至らなかったため実績値の把握が不可能ということで進捗状況を E としております。二つ目が「職場などで女性が不当な扱いをされていると思う人の割合」です。平成 26 年度の基準値が 37% で、それを 25% に引き下げるという目標でしたが、実際の実績値が平成 30 年度の 56% で、進捗率が -158.33% の D としております。この数字は男女共同参画に関するアンケートを基に出しておりますが、まず基準値が 26 年度にアンケートを実施した時の数値でございます。平成 30 年度の数値が 30 年度のアンケートの数値なのですが、同じ項目がなかったため、類似項目の割合をここに掲載しております。「職場などで女性が不当な扱いをされていると思う人の割合」と 30 年度に実施した項目が「職場の中で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。」というところで、「1. 男性が非常に優遇されている」が 14% と「2. 男性がどちらかといえば優遇されている」が 42% で合わせて 56% というのをここに記載しております。これら二つの KPI について、検証が難しいことなどから、第 2 期総合戦略には掲載しておりません。

具体的な事業の、①地域若者「就地」拡大プロジェクト事業について、こちらは企業版ふるさと納税制度を活用して始まった事業です。KPI は本事業による雇用創出数としており、目標の累計 20 人に対し、実績が累計 10 人で、進捗状況 B となりました。この事業は、3 年間の計画で平成 30 年度をもって制度の活用は終了いたしました。取組としては継続することで成果が上がるものと考えており

ますので、内容の見直し・検討しながら継続して取り組んでまいります。

基本目標1全体の進捗状況を見ますと、先ほど説明しましたとおり、AからCの割合は77.8%で、特にAの目標達成または達成見込みの割合が63%と、4つの基本目標の中で最も高い結果となりました。それぞれに課題はあるものの、各産業の振興に対して、取組の効果があったものと考えております。

基本目標1垂水市における安定した雇用を創出するについての説明は以上です。

ここで、本日欠席されておりますM委員よりご意見をいただいておりますので紹介いたします。

3 ページ基本目標のKPIに対して進捗状況も100%を超え順調に進んでいることは良いことだ。個人情報保護したうえで審議会限定でもいいので公開して雇用創出の具体的業種、企業名があるとわかりやすい。

具体的な事業について①新規就農者数も同じくどの地区にどんな年代のどのような作物を作る新規就農者が就いたか具体例があるとわかりやすい。②新規作物推進事業について、その時の環境にもよるのでその地に適した農作物の植え付けを事前に調査し実行することが大事。地元の人意見も聞く必要もあると思う。

4 ページ⑤間伐実施事業について、森林環境税導入の件もあり、垂水市は鹿児島大学高隅演習林があり縁もあるので鹿児島大学とも連携し森林環境税についての具体的研修会を実施するなど森林環境保全、活用を行ってほしい。

7 ページ①たるみず観光物産販路拡大支援事業について、観光課から生産者グループや団体にはこういった催し、イベントがあるという情報提供があり参加しておられるようだが、そういうグループには入っていないが興味がある生産者はいると思うので商工会を通じてでもいいのでこういう事業があることの情報提供は行ってほしい。

8 ページ①企業等立地立地促進事業について、企業誘致は本市の活性化、人口増、雇用創出などあらゆる面においてメリットがある。コロナでテレワーク、リモートワークが推奨され見直される中、企業が垂水市に立地したい、営業所を置きたい、工場を置きたいなど魅力を感じるような優遇措置を講じ企業立地促進を進めてほしい。

基本目標1-3-① 地域若者「就地」拡大プロジェクト事業について、国際大学と数年間垂水高校への出前授業に参加させてもらったが自分にとっても、いろいろ見直すいい機会となった。今後は若者の垂水市への就職を促すため高校生、大学生だけではなく、中央中学校の子供たちへのアプローチが大事ではないか。そのためにはまず中学生はもちろんその保護者への垂水高校へ進学を促進する必要がある。垂水高校へ進学した時のメリット、そして市としては企業とも連携しその後の本市への就職に向けた情報提供を行う必要があると思う。

というご意見をいただきました。効果検証では結果と自己評価を

| | | |
|-------|-----|--|
| | | 掲載しております。わかりやすい資料になるよう今後務めてまいります。以上です。ご審議をお願いします。 |
| 議長 | ... | ただいま基本目標 1 について説明がありました。また、M 委員からのご意見もご紹介いただいたところです。皆様からのご意見・ご質問もいただきたいところですが、いかがでしょうか。 |
| ○委員 | ... | 4 ページ⑥ 6 次産業化推進組織設立事業についてですが、これについては④ 6 次産業化及び企業農業創出事業の先進地視察研修と併せて、現段階では準備段階であるという印象を受けるんですけども、⑥と④の最終的な目的とするところは重なる部分が大いと思うんですが、⑥についてはD、④の先進地視察研修はCとなっていますが、これらの事業の兼ね合いによっては新しい 6 次産業化の後押しになっていくものだと思うので、なかなか一朝一夕で達成するのは難しいと思いますが今後必要になってくるのではないかと思います。 |
| 議長 | ... | そこにもっと力を入れてもらいたいというご意見だと思います。その他はいかがでしょう。 本日、この場ではなかなか出にくいと思いますが、後日、ご意見・ご質問等あった場合には、本日お配りしてあります別紙にて事務局へご提出いただきたいと思います。 とりあえず進めさせていただきます。基本目標の 1 につきましては、地方創生に効果があったということによろしいでしょうか。 (各委員承認) では、次の基本目標 2 「垂水市への新しいひとの流れをつくる」について説明をお願いします。 |
| 事務局 2 | ... | 続きまして 9 ページをお開きください。基本目標 2 「垂水市への新しいひとの流れをつくる」について、基本目標の KPI、1 「総交流人口」ですが、目標値 200 万人に対して令和元年度実績 201 万人で進捗状況を A としました。KPI の 2 「社会増減数」は、転入者から転出者を差し引いた数字のことです。年間マイナス 100 人を目標にしておりましたが、令和元年度が、マイナス 34 人で A としております。 次に、施策の 1 魅力的な観光資源を活かした多様な交流の推進について、KPI の 1 メディア情報発信件数は、目標値 60 件に対して、令和元年度実績 56 件で進捗状況は B となっております。KPI の 2 教育旅行受入校数は、目標値 40 校に対して、令和元年度実績 17 校で D としました。 11 ページをお開きください。具体的な事業の⑦都市公園整備事業は利用件数を 6,000 件、利用人数を 100,000 人それぞれ目標としており、令和元年度実績は件数 4,000 件の D、人数 96,083 人の C となりました。昨年度と比較して、利用人数の進捗状況が A から C になりました。自己評価にあるとおり、市体育館の改修工事による利用休止期間の影響により実績が減っておりますが、今後、リニューアルした体育館の利用増加を図ってまいります。 続きまして、12 ページ基本目標 2 の 2 積極的な移住定住対策の推進について、施策の KPI 「転入者数」は、600 人の目標に対し、令和 |

元年度実績 513 人で進捗状況 D としております。次の KPI「空き家バンク登録件数」は、累計 100 件の目標に対し、実績は累計 171 件で A としております。具体的な事業についての説明は省略させていただきます。

基本目標 2 の全体の進捗状況をみますと、A が 55%、D が 30% とばらつきが大きい結果になりました。2 つの施策は多様な交流と移住定住の推進ということで、まちの活性化に直接的に影響するものであり、それぞれの事業について継続して実施する必要があります。第 2 期総合戦略では、目標値を 5 年間の累計にしたり、視点を変更したりして、事業に取り組んでまいります。

基本目標 2 垂水市への新しいひとの流れをつくるについての説明は以上ですが、M 委員からのご意見を紹介いたします。

総交流人口は年々増加傾向にあり、観光課、そして市長自らテレビ出演、メディアでの情報発信をされていることが功を奏しているように思う。

具体的な事業について、①南の拠点整備事業についてこの事業は 5 年前この会議で計画を知り関わってきたこともあり、南の拠点が完成し動き出していることは感慨深いものがある。当初は順調に推移してきたものの、今年春以降コロナの影響もあり苦境が続いているが、間もなく 2 周年を迎えるにあたりイベントも計画されているのでコロナ対策をしたうえで市としても引き続きバックアップし活性化に努めてほしい。

②垂水イメージアップ事業について、メディア露出により各観光地や市の取り組みに注目が集まっていることは大変良いことで引き続きお願いしたい。垂水観光大使への SNS での発信も積極的に行っていただくように市としてもお願いしてほしい。個人的には知名度も高く、垂水に縁がある方に大使をお願いできないかと思っています。10 ページ③商工関連イベント支援事業について、商工会観光課を中心に引き続き取り組んでもらいたい。④⑤については、修学旅行がコロナの影響で県外から県内へシフトチェンジしている今、県内の小中高校、旅行会社などへ向けた垂水市のアピール強化も必要だと思う。⑥スポーツ合宿誘致事業について、様々なスポーツ団体が垂水市でキャンプを張るなど活性化が見られる、関係課の努力のたまものだと思う。フェンシング日本代表が来られているのは大変素晴らしいと思う。引き続き進めてほしい。11 ページ⑦都市公園整備事業について、体育館、スポーツランド、その横の児童公園の整備により市民、特に子供たちが自由に遊べる施設が充実したことは大変良かった。既存の公園の整備も併せて進めてほしい。

コロナで室内施設が敬遠される中、公園などの室外で遊ぶ機会も多く公園の利用は市民のストレス発散、健康維持に必要なので引き続き整備、維持管理に取り組んでほしい。12 ページ基本目標 2-2 積極的な移住定住対策の促進について、第 5 次総合計画にも人口減少対策プログラムが盛り込まれており何も対策をしなければ数年後垂水市の人口が 7000 人になるという予測もあるが、そうならないために移住定住促進は必要である。移住定住に特化した対策課を設

けるのも一つの手ではないか。日本全国人口減少になる中、人の引っ張り合いになるわけで、特化した魅力ある対策が重要だと思う。

というご意見をいただきました。先ほども申し上げましたが、まちの活性化に欠かせない項目ですので、今後も取り組んでまいります。以上です。

議長

… ありがとうございます。ただいまの基本目標2「垂水市への新しいひとの流れをつくる」につきまして、ご意見・ご質問等ございますでしょうか。

では、私から質問させていただいてよろしいでしょうか。

基本目標2のKPI社会増減がいい方向に進んでいるということですが、ずいぶん改善されているように思うんですが、何か理由があるんでしょうか。あるいは、どういう施策がこういう効果をもたらしたのか、なにか掴んでおられたら教えてもらえませんか。

企画政策課

… こちらにつきましては、アンケート等をとっていないので断言はできませんが、社会増減への対策としまして、空き家有効活用推進事業支援補助金や空き家リフォーム促進事業、垂水市にお住まいの方や転入されて来られる方を対象とした住宅取得費の助成事業、そして子育て世帯への住宅費助成事業ですとか、結婚新生活支援事業など、様々な支援事業を行っております。他自治体と比較して、突出した制度ではありませんが、遜色ない助成事業が整ってきたということが一つ、効果が表れているのではないかと考えています。それと、もともと垂水市に住まわれている方が、このような制度を活用することで、近隣自治体へ転出することを防いでいるのではないかと感じているところでございます。

議長

… ありがとうございます。様々な施策が合わさって、こういった効果が表れているということだと思います。このままプラスに転じていけば、人口増に繋がっていくと思います。まさにこの、新しい人の流れをつくるということになりますので、引き続きこの流れが続けばよいと思います。

他、いかがでしょうか。

○委員

… 教育旅行の取組について評価が低くなっていますが、長期的な取組と同時に、交流にあたっての関係性づくりが大事になってくると思います。姉妹都市など一歩踏み込んだ関係性づくりをしているところが県内でもあるようなので、そのような関係性・パイプづくりといったことも必要なのかなと感じています。

議長

… 今のご意見に対して行政の方から何かございますでしょうか。

水産商工観光課

… 海外につきましては、現在インドネシアを中心にしておりまして、長期計画の中で進めているんですが、現状として海外から来ることが難しく、減っている状況です。しかしながら、新たな取組として、ほかの国とも関係しながら取り組んでいければと考えております。

| | | |
|---------|---|--|
| 議長 | … | <p>ありがとうございました。コロナの影響もあって国際的な交流がすべての局面で滞っております、大学でも留学生がすべてストップしております。なので、第2期では出だしの目標の数字を下げていかないと現実的ではないのかなとも思います。ただ、そこは引き続き取り組んでいただいて、アフターコロナの時に備えて準備をしていかないといけないなと思います。</p> <p>他、いかがでしょうか。</p> |
| F 委員 | … | <p>交流人口の概念なんですが、基本目標のK P Iで200万人の目標に対して201万人で、これをクリアしたと、その要因として「南の拠点整備事業」であるということなんでしょうけど、平成30年度と令和元年度でそれぞれ25万人と75万人で100万人増えたと、すなわち垂水市の交流人口というのは道の駅たるみずはまびらのはたした役割がこんなに大きいのかと、これで2倍になったと理解するのかと思うんですが、そうしますと第2期の計画になるんでしょうけど、今後の交流人口の展望と言いますか、そこがこの資料では見えないので、今後の展望について教えていただきたいと思います。</p> |
| 水産商工観光課 | … | <p>交流人口につきましては、県の観光統計の数字です。各ホテル宿泊、イベントなど様々なところから数字を出しております。現在道の駅たるみずはまびらができましてから、だいぶ増えていますが、大きく交流人口の主となっているのが、道の駅たるみずはまびらと道の駅たるみずゆったり館、そして森の駅の3か所です。この3か所の拠点が連携して、そこだけではなく、垂水市の他の体験や観光地といったところをめぐることを考えまして、交流人口を増やすことを目指して取り組んでいるところでございます。</p> |
| 企画政策課 | … | <p>第2期総合戦略の目標設定につきましては、基準値が平成30年の148万人に対しまして、令和6年度の目標200万人としております。3つの拠点など整備されたことによりまして、更なる上積みというよりは、まずは200万人を堅持していくという形で交流人口を確保していきたいというのが総合戦略の目標でございます。</p> |
| 議長 | … | <p>ありがとうございます。200万人の大台をキープするというのが当面の目標だということでもございました。コロナの影響で人の移動もだいぶ少なくなっておりますのでそういうことなんだろうと思います。</p> <p>他よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、この項目に対しましても地方創生に効果があったとさせていただけますでしょうか。</p> <p>(各委員承認)</p> <p>それでは、基本目標3「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」について、事務局から説明をお願いします。</p> |

… 14 ページをお開きください。基本目標 3「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」について、基本目標の KPI 一つ目が「出生数」で、累計 600 人の目標に対し、実績累計 396 人で進捗状況は B としております。

次の KPI が、「生涯未婚率」で、目標は男性 20%、女性 10%としておりました。こちらが国勢調査の数値を元に算出しますので、実績が平成 27 年度までしか出ておりません。平成 27 年度実績が、男性 31.2%、女性 19.5%でともに進捗状況 D としております。

次に、施策 1 出産・出生・子育てしやすい環境づくりの推進の (1) 出産・子育て環境の充実について、施策の KPI が 1「子育て支援センター利用数」で、9,708 人の目標に対し、令和元年度実績 6,406 人で進捗状況 C としております。

KPI 2「放課後児童クラブ登録者数」は、117 人の目標に対し、令和元年度実績 131 人で進捗状況 A としております。

続きまして、16 ページ基本目標 3 の 1 の (2) 教育環境の充実について、施策の KPI 1「将来の夢や目標を持っている子の割合」で、目標値 85%に対して、令和元年度実績 84.7%で進捗状況 A としております。

KPI 2「学校での出来事を家の人と話す子の割合」は、目標値 80%に対して、令和元年度実績 76%で進捗状況 C としております。

続きまして 18 ページをお開きください。基本目標 3 の 2 若年層が暮らしやすい環境づくりの推進です。施策の KPI「若年層サポート事業数」目標値 3 事業に対し、令和元年度実績 2 事業で進捗状況 B としております。具体的な事業についての説明は省略させていただきます。

基本目標 3 の全体の進捗状況をみますと、効果が発現しているとする A から C までの割合が 83.3%と 4 つの目標の中で最も高い結果となりました。各施策及び事業の進捗状況をみると、ほとんどが A から C となっております。本市において少子高齢化は対応しなければならぬ大切な課題であり、ここでの取組はその課題に効果があるものと考えております。近い将来「人口の若返り」が実感できるよう、今後も引き続き、ニーズに応じた取組を進めてまいります。

基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるについての説明は以上です。

M 委員からのご意見を紹介いたします。

移住定住とも関係するが、子育てしやすい町は移住しやすいし、今いる人にとっても住み続けたいと思える要因である。不妊治療、子供への医療費助成、支援センターの充実、など引き続き取り組んでほしい。

というご意見をいただいております。以上です。

議長

… ありがとうございます。

基本目標のK P I 生涯未婚率ですけれども、これは平成 27 年度の数字で評価せざるを得ないということなので、そもそも 5 年間の成果としてみるものではないということですよね。この数字が下がっていることを期待するということだと思います。

ここではAからCが多いということなんですが、そうなる気になるのがDとなっている垂水高校の入学者定員充足率で、ここだけが具体的な事業の中ではDとなっております。ずっと下がってきている状況なので、先ほどもありましたが、中学校への働きかけなどやっていただいて、地元に進学し地元就職するというような流れができるようにしていただきたいと思います。

他になにかございませんでしょうか。

N委員

… 放課後児童クラブ登録者数が 117 人の目標に対して令和元年度実績が 131 人ということで、需要の高さがうかがえますが、これは何か所かあるのでしょうか。今後上限のようなものが出てくるのかなということを思いました。

福祉課

… 放課後児童クラブにつきましては、登録者数が平成 30 年度に増えていますが、協和小とさざなみの 2 か所が新たに開設したということで増えております。現在垂水市は、4 箇所 5 単位で児童クラブを設置しており、定員が 176 人となっております、1 日あたり平均 79 人が利用されております。今後につきましては、牛根地区に児童クラブが設置されておられませんので、早期設置に向けて進めているところでございます。

N委員

… 商工会イベント運営事業の婚活イベント開催について、進捗状況としてはAなんですけど、実施されている中でカップル成立率みたいなものがあれば面白いのかなと思いました。

水産商工観光課

… カップル成立率は把握しておりますが、今手元に資料がございませんので、あともってお示しします。

(審議事項 (2) その他で説明あり、以下その内容)

この事業は商工会が主となり、市と連携して実施しております。平成 27 年度は春と秋に 2 回実施し、春が参加者 141 人カップル成立数 15 組。秋が 30 名の参加者に対しまして 5 組のカップル。平成 28 年度は春が 88 名の参加者に対しまして 8 組のカップル。秋が 40 名に対しまして 3 組のカップル。平成 29 年度は春が 121 名の参加に対しまして 13 組のカップル。秋が 40 名の参加に対しまして 2 組のカップル。平成 30 年度と令和元年度は秋にそれぞれ 1 回しか実施しておりませんので、30 年度が 37 名の参加に対しまして 4 組のカップ

ル。令和元年度につきましては内容を変えようということになりました。カップルということを目的にしなかったものですから、参加者は45名いらっしゃいましたがカップル成立数は把握しておりません。なお、この参加者につきましては市外の方がけっこういらっしゃるものですから、結婚まで至ったという数字は掴んでおりませんが、何組かしたということは聞いております。

議長

… 他はいかがでしょうか。

それでは、ご質問のなかった項目につきましては、地方創生に効果があったということでご承認いただきたいと思っております。

次に、基本目標4「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」について、説明をお願いします。

事務局 2

… 19ページをお開きください。基本目標4「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」について、基本目標のKPIは二つあり、一つ目の「全事業所売上高」については、毎年度の実績把握ができないことから、平成28年度の実績しか入っておりません。二つ目は「今後も住み続けたいと思う人の割合」です。50%以上の目標に対し、令和元年度調査の結果、41.4%で進捗状況Dとしております。

施策の1「垂水市に合ったDMO導入の推進」です。施策のKPI「DMO関係の説明会等開催回数」では、累計20回を目標としておりましたが、未実施のため、Dとしております。ここにつきましてはDMOづくりの推進から、本市においては地域商社の設立へ方向の転換があり、実際に地域商社の設立をしております。そのためDMOに関しては未実施となっております。

続きまして20ページ、基本目標4の2「安心して暮らせるまちづくりの推進」について、施策のKPIの一つ目が、「地域振興計画の取組事業数」で、累計100事業の目標に対し、実績累計84事業で進捗状況Aとしております。

二つ目は「垂水ほっとメール登録者数」です。3,000人の目標に対し、令和元年度実績828人で進捗状況Cとしております。

基本目標4の全体の進捗状況をみますと、効果が発現しているとするAからCまでの割合が57.2%と、4つの目標の中で最も低い結果となりました。進捗状況をDとした具体的な事業④建築物耐震改修促進事業や⑤地域包括ケアセンター整備事業についても、安心して暮らせるまちづくりに必要な事業ですので、今後、事業の周知や、介護予防・自立支援に向けた取組などを行ってまいります。

基本目標4時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携するについての説明は以上です。

M委員からのご意見を紹介いたします。

各公民館で10年計画を策定しそれに沿って地域づくりを進めている、今やこの10年計画は地域づくりの基本となっており重要な政策の一つとなっている。10年計画は各9地区が完成し、大野地区は10年経ち次の10年に向けた計画づくりを現在進めている。今後市長や関係課長と住民との協議の場が設けられ具現化する予定である。地域の柱は公民館、振興会であり、ここと市の連携は不可欠である。今年度から公民館主事が全地区常駐主事となり、公民館の役割はさらに大きくなっていく。行政には引き続き連携、支援をお願いしたい。少しこれとは逸れるかもしれないが、大野地区は人口100名足らずで、高齢化の進んだ限界集落である。活性化を図るべく市の支援をいただきながら活性化に取り組んでいることに感謝したい。その大野地区は水資源の確保が今後大きな課題となってくると感じている。大野の水源は山の中にあり山水をダムに貯め、ろ過機を通し簡易水道として生活用水を確保しているが、台風時には流木や土砂でダムが埋まりそのたびに水源地の復旧を行っている。山の中なのでそこまで行くのも大変であるが、今後高齢化が進めばこの作業も難しくなってくる。ボーリングによる水源の確保を検討しており国を始めとした財政的支援を求めたい。垂水中央地区以外の地区は、今後同じような課題が出てくると思うので先を見据えた対策を求めたい。

最後に全体的な意見として、地域おこし協力隊の導入をわが市でも検討してはどうか。コロナで首都圏から地方へ移住してくる人も多い今、国費で採用される地域おこし協力隊の皆さんですので市の財政的にも負担がなく、市外の皆さんの新しい違う目線で垂水市の魅力を発掘、深化させてもらいたい。各地域に協力隊に移住してもらい地域住民のつながりを深めたり、観光分野で活躍してもらったり色々メリットはあると思う。3年間の任務後はその地で起業や就職すれば人口増にもつながるのでまずは担当課が、導入している他市町村の状況、現状、課題などを把握し導入に向け対策をしていただきたい。

この会議では垂水市活性化のため各方面の代表の皆さんが集まられているので貴重な意見をもとに今後みんなで活性化に取り組んでいけたらいいと思います。

というご意見をいただきました。住民主体の地域づくりにおいて、地域振興計画事業は重要な役割を担っております。市民と行政が連携し、地域課題解決と地域の自立につながる活動を支援してまいります。以上です。

| | | |
|-------|---|--|
| 議長 | … | ありがとうございました。基本目標4は、全体的には4つの目標の中で最も低い評価となってしまいましたけれども、これにつきまして、ご意見・ご質問等ございますでしょうか。 |
| ○委員 | … | 建築物耐震改修促進事業について、自己評価にあるように、台風被害の常習地ということで、そちらに対するリフォームが多くなっているということなんですが、今年の台風10号を通して備えに対する関心が高まっているように思います。なにかあってからではなく、備えるということを推進していけば、災害に対する安心安全という意味で、それが垂水市の魅力の一つになっていくと思うので、根気強く取り組んでいってもらえればと思います。 |
| 議長 | … | 今のところ耐震に関する相談がないということなんですが、啓蒙喚起していくということだと思います。 他になにかございますか。 |
| F委員 | … | 聞き逃したのかよくわかりませんでした。DMOの説明回数が目標20回のところが未実施ということで、その下の具体的な事業の商品開発で、特産品の開発については令和元年度から垂水未来創造商社へ移行して進めていますと、二つ目の観光については大隅観光未来会議と連携してやっていきますよということで、垂水市のDMO地域のことは地域で精通した組織で観光とかしかけていくんだというそういう組織を立ち上げていくんだということだと思いますけど、どういう現状だったか聞き漏らしてしまいました。そこについてもう一度教えてください。 |
| 事務局2 | … | 計画を策定した時はDMOの導入に向けた取組ということで掲載いたしました。その後、地域商社の設立に方向転換がされ、実際に地域商社を設立しており、それが垂水未来創造商社です。 |
| F委員 | … | いわゆるDMOという概念の組織を目指すのではなく、垂水未来創造商社というもので、ここが観光の部分も担うという意味でしょうか。 |
| 企画政策課 | … | 施策としましては、DMOから地域商社の設立という方向転換があり、地域商社の設立が現在かなっておりますので、その地域商社を中心としまして、道の駅の運営も担っていただいています。今後、この地域商社が観光分野の振興、そして交流人口の増にも積極的に取り組んでいただくというところに位置付けております。 |
| 議長 | … | ありがとうございます。他に、よろしいでしょうか。 それでは、ご意見・ご質問がなかった項目につきましては、地方創生に効果があったということにさせていただきたいと思います。 最後になります。地方創生拠点整備交付金事業について、説明をお願いします |

… 続きまして、地方創生拠点整備交付金事業についてご説明いたします。総合戦略に個別では載せておりませんが、交付金を活用して整備したもので、検証をしなければならないこととなっておりますので、本審議会で検証していただきたいということで、ここに挙げております。

平成 29 年度に実施した事業で、施設整備計画の名称を「道の駅展開エリア内における海洋スポーツを活用した交流人口創出施設整備計画」としております。

2 事業概要は、鹿屋体育大学と連携し、錦江湾の豊かな海洋資源を活用した SUP、カヌーなど多様なマリンスポーツに触れ合う場所として施設整備を進めるとともに、スポーツ経営の観点で現地拠点の経営について指導を仰ぐことで、収益性を重視した施設運営を実施するものとなりました。

施設の名称は、マリンスポーツ施設「マリパークたるみず」で、垂水市浜平のたるたるばあく内にあります。事業費は、1 億 1,140 万 8,864 円で、うち交付金額は 5,221 万 9,085 円です。

この事業の KPI は 3 つあり、一つ目が利用人数です。令和 2 年度目標値累計 2,400 人で、令和元年度実績は累計 1,754 人でした。

二つ目は雇用人数で、令和 2 年度目標値累計 11 人で、令和元年度実績累計 5 人となっております。

三つ目は教育旅行受入校数です。令和 2 年度目標値累計 30 校で、令和元年度実績累計 5 校となっております。

以上でこちらの説明を終わります。

… ただいまの説明に対してご意見・ご質問はございますでしょうか。ここについてもまだ出来て間もないのでこれからということでしょう。

このマリンスポーツ施設整備について地方創生に効果があったとしてよろしいでしょうか。

(各委員承認)

それでは、そのように総括させていただきます。

審議事項(1) 第 1 期「垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の効果検証につきまして、事務局におきましては、本日、委員から出されました意見等を外部評価としてとりまとめ、今後の総合戦略関連事業の展開に活用するようお願いいたします。

審議事項(2) その他で、委員の皆様から何かございますでしょうか。

無いようでしたら、事務局の方から何かございますでしょうか。

(N 委員からあった質問に対して水産商工観光課より説明)

| | | |
|-------|---|--|
| 事務局 2 | … | 本日の効果検証結果について、審議会後に再度資料に目を通していただき、ご意見があった場合は、本日お配りいたしました「垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証結果に対する意見」にご記入いただき、FAXでも構いませんので11月13日までにご提出ください。 |
| 議長 | … | ありがとうございます。 是非、なにかありましたら、11月13日という期限がございますので、それまでにご提出いただければと思います。 本日は様々なご意見をありがとうございました。是非今回のご意見を活かして、第2期でも引き続き良い地域づくりに成果が挙がるように願っております。また、委員の皆様方それぞれの立場から行政と協力して良い地域づくりにこれからもご尽力いただければ幸いです。 それでは、本日の審議はこれで終了させていただきたいと思えます。議長の任を解かせていただき、事務局にお返しいたします。 |
| 事務局 1 | … | ありがとうございました。 以上で、第13回垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会を閉会いたします。 委員の皆様、本日は、お忙しい中、ありがとうございました。 |
